

芦別慈恵園中期経営方針（2020～2030） 2020. 4. 1更新

法人理念	
「和顔愛語」人にやさしい笑顔で 心は豊かに 言葉は和やかに	
経営理念	
I 「地域・家族・利用者」のニーズに応えられる事業展開を行います	II 「人材・介護力・環境」を整備しながら安定した経営を目指します
介護理念	
I ひとり一人の生活や暮らしを大切にします	II 最期の時まで口から食べる食事の工夫をします
III ご家族と一緒に看取ります	



中期経営ビジョン
<ol style="list-style-type: none"> 2045年までの25年間で社会福祉法人の使命として地域の中核となる事業展開を行います。（地域包括ケアシステムの継続） 私たちは利用者一人ひとりの人生を尊重し、豊かな暮らしを実現するためにケアの力をつけます。（個別ケアの実現） その人がどこでどのように暮らしたいかということを根拠にサービスを展開します。（ライフサポートワーク）

中期経営方針
<ol style="list-style-type: none"> 地域のネットワークをつくり、お客様、家族の暮らしに必要なサービスを提供します。 多職種が情報を共有し、お客様個人の生活を知り、生き生きとした暮らしを実現します。 地域でいつまでも安心して過ごすことができるように、法人内のノウハウ等を地域に還元します。

中期経営目標										
1. 介護老人福祉施設（72床） 3億1千6百万円	2. 短期入所生活介護（6床） 2千6百万円	3. かざぐるま（20床） 9千2百万円	4. デイサービス（18名）+緩和型 4千1百万円	5. もみじの家（10名…1日7名以上） 2千3百万円	6. 訪問介護サービス 1千3百万円	7. ケアプラン相談センター 2千5百万円	8. 配食サービス 2百5十万円	9. さくらハイツ 1千2百万円	10. 経常収入 5億5千万円	11. 法人職員数 111名

中期経営目標を達成するための施策

組織・幹部体制・意思決定機能の整備
<ol style="list-style-type: none"> 私たち職員は基本理念の実践に努め、また就業規則と業務指針に基づき社会人としてのルールとモラルを守り、法人の品格を高めます。 幹部職員は明確な目的を持ち、その実現のために目標、取り組みを定め、職員と共に実践します。 芦別慈恵園は職員にとって明るく安心でき、働きやすい職場であるように努めます。 第三者評価を受審し、法人の現状把握を行い強みと弱みを知り、コンプライアンス体制（法令順守・内部牽制・責任の所在）の確立に努めます。
地域活動・経営力の強化
<ol style="list-style-type: none"> 私たち市民が安心して暮らし続けることができる地域づくりのため、常に地域のニーズを取り入れた事業展開を目指します。（予防事業・初任者研修・実務者研修等） 地域をアセスメントしニーズを把握するため地域貢献事業を行います。（ミニバレーボール大会・雪灯りを歩く会・もみ塾・えがお塾・そば塾・なごみの丘公園・えがお健康体操教室・なごやかサロンなど）
介護サービス・人材の強化
<ol style="list-style-type: none"> 持続性のあるサービスを提供するために各事業における課題や目標に対しての取組を法人内で発表し、成果について検証、評価を行い、知識や技術を磨きます。 他施設と実務研修を相互に行い自己研鑽とサービスの質向上に努めます。 介護の質や技術の向上のため研修（勉強会等）を開催し、ケアプラン等の円滑な実践と評価を行います。

2020年度		
サービス目標	基本を守り、お客様の笑顔のために働きます。	重度化防止と自立支援介護を継続します。
基本方針	①基本を守る（理念の実行・7つの柱実行）	②段取りを行う（大切な時間を有効的に活用する） ③ぶれない心（スタッフを正しく導く）